

令和元年度大岡小学校 2年1組 クラスの学びを発信します！

# ぐみようじしょうてんがいとなかよし大さくせん

店や店の人と「なかよし」になっていきたいという思いで、弘明寺商店街を探検しています。なかよしになっていくために、「お店の人とたくさん話したり聞いたりしたい。」「お店のことやお店の商品を詳しく知りたい。」と、子どもたちの願いも膨らんでいきました。探検中には、見つけたことや話をして分かったこと、感じたことなどを、絵を交えながら記録し、探検後の話し合いで共有していきます。

話し合いでは、「商品の人気ランキングを調べてきました。」「お店の秘密を教えてくださいました。」と、盛り上がり、「自分が行っているお店ではどうなんだろう？」と考える子ども達。話し合いで話題に上がったことを次の探検で確かめてみたり、質問することを決めて行ったりと、なかよくなるためにどうしたらよいのかと考え、実際に行動に移していきます。



そんな中、いつもお世話になっているお店の人に手紙をプレゼントした子どもが現れ、その時のやり取りをきっかけに、みんなの探検も深まっています。「お店の人に感謝の気持ちを伝えたい。」「ぼくたちに何かお手伝いできることがないか聞いてみたい。」と、自分なりのかかわり方を考え、手紙や折り紙をプレゼントしたり、実際にお店の手伝いをさせてもらったりする子どもが増えてきました。

「お店の人が、また来てねと言ってくれた。」「今日もありがとうと言われた。」など、自分の探検に充実感を感じ、探検に行くたびに「なかよし」に近づいていると感じていく子ども達。「店の人はいつも見守ってくれている。」という気付きをする子どもや、「放課後にもお店にいつか来たよ。」という子どもも出てきました。今後も「なかよし」に近づくだけでなく、自分なりのかかわり方を見つけてお店やお店の人と関わる子どもが増えそうです。